



# 金沢犀川ワイズメンズクラブ 2015年8月第一例会のご案内

お気軽にご参加ください

<http://www.ys-chubu.jp/saigaways/index.html>

**日時**：2015年8月13日(木) 19:00～21:00

**場所**：金沢都ホテル (JR金沢駅兼六園口前)

金沢市此花町6-10 TEL 076-261-2111 <http://www.miyakohotels.ne.jp/kanazawa/>

**会費**：3,500円(夕食代を含む)

**卓話**：「日本古来種のクサガメ・イシガメについて」 新田 智敏氏(元・国家公務員)

**卓話概要**：小学校にあがる前、釣り好きの父に付き合わされることが多かったが、ある日、父が見つけた亀と浅瀬で遊んでいたところ、この亀が突然、魚を捕らえるのを目撃、ノロマな亀が魚をすばやく捕らえる様子に感動し、この亀を持ち帰って飼い始めたのが亀との最初の出会いである。単身赴任の生活から解放されて自宅に戻ったときには、8種類約150匹の亀を飼育するまでになっていた。これまでの観察結果について、日本古来種のクサガメ・ニホンイシガメを中心に紹介する。

イシガメは福井県～九州、クサガメは石川県～青森県に生息し、福井県の九頭竜川で捕えた亀はすべてイシガメ、石川県の手取川で捕えた亀はすべてクサガメであることから、両種の生息域は福井県と石川県が境界となっているようである。

クサガメの背中には、中央に1本、左右に2本の筋がある。クサガメの雌の最大級は甲長28cm・体重2.2kg、ニホンイシガメの雌の最大級は26cm・体重1.9kgと、クサガメのほうが一回り大きくなる。雄は雌の0.85掛け位であり、雄のほうが小さい。

クサガメもイシガメも普段は水陸両生だが、摂氏15度以下の気温になると、水中または土中にもぐり、活動はあまりしなくなる。最適温は25度位であり、30度を超えると活動が鈍くなる。このため北陸では5月初旬～11月上旬位までの6ヶ月間活動するだけで、あとの6ヶ月間は冬眠状態となる。

ノロマな亀がなぜ動きの早い魚を捕らえることができるのかというと、魚は一般的に同一地点を何回も往復する習慣があるので、亀はそれを見抜いて待ちぶせをする。また、弱った魚を見つけて追いかけたり、夜中に寝ている魚を狙ったりする。魚を捕らえる時には、亀はまず口で飛びつき、すぐに鋭い手爪を魚体に突き刺したまま、魚が弱るまで待つことにより、自分よりも大きな魚でも捕らえることができるのである。

そのほか、子亀の育て方など、亀の諸々についてウンチクを傾けたい

**講師プロフィール**：にった ともし。1944年生、富山県魚津市出身、白山市在住。農林水産省にてダム・河川・水路・道路・干拓等の設計及び積算、現場監督などを歴任。亀については、趣味が高じて研究するに至った。

## 参加申込・問い合わせ先

申込は8月10日(月)までに。平口会長 TEL/FAX076-264-0220、北書記 TEL/FAX 076-245-2386、竹中当番 TEL076-224-9222、FAX076-223-4821。

上記個人のアドレスをご存知の方はEメールで申込可。または、次のアドレス宛に。

koshomachiruka と@と yahoo.co.jp の組合せ